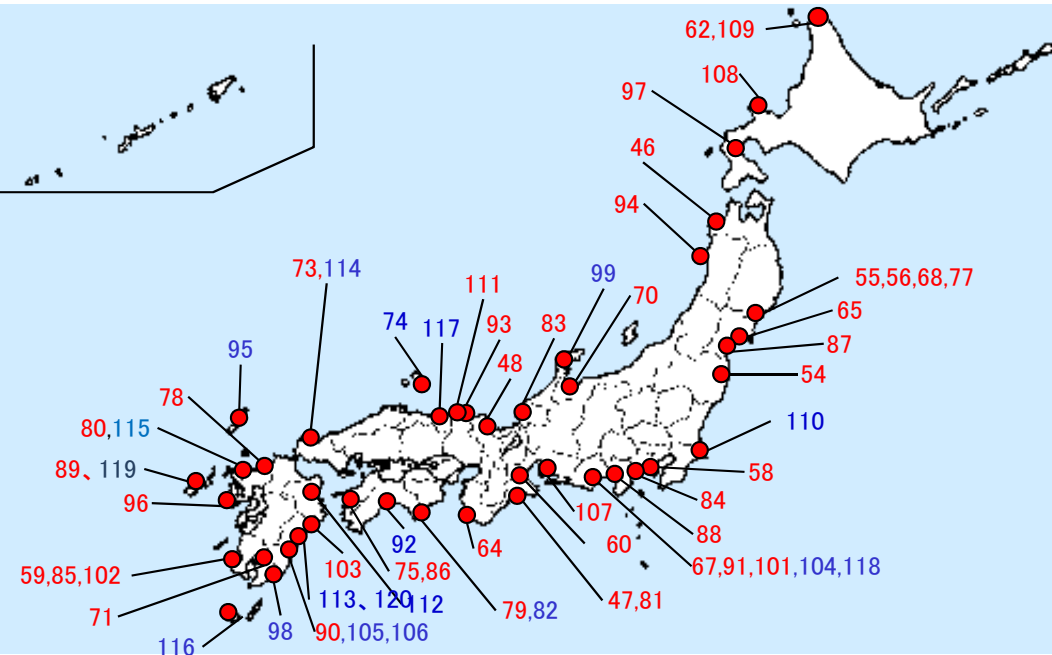


# 漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —認定済み計画—

(H27年12月10日現在)



- 46 深浦(沖底): 省エネ・小型化(50→19t)、衛生管理・付加価値向上等<25.9~改革型>
- 47 三重外湾(中まき): 船団縮小(6→4隻)、ウォーターバックによる活魚輸送等<25.1~改革型>
- 48 舞鶴(定置): 操業体制の再編、省人・省力化、活魚率向上等<25.1~改革型>
- 54 遠洋まぐろ延縄(いわき): 省エネ、漁獲物処理の迅速化<25.7~改革型>
- 55 遠洋まぐろ延縄(気仙沼②): 省エネ、EU衛生基準に対応した設備<25.7~改革型>
- 56 遠洋まぐろ延縄(気仙沼③): 導入省エネ、高付加価値化<25.3~改革型>
- 58 遠洋まぐろ延縄(三崎): 船型の小型化、超深縄漁法の導入<25.8~改革型>
- 59 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野): 省エネ、次世代型冷凍システムの導入<25.9~改革型>
- 60 遠洋まぐろ延縄(伊勢): 省エネ・省コスト型漁船、浅縄操業の導入<26.2~改革型>
- 62 北海道機船(稚内): 省エネ型漁船、活魚脱血処理等による高付加価値化<25.10~改革型>
- 64 紀伊水道(中まき): 2艘まきから1艘まきへの転換、船団縮小(9→7隻)<26.2~改革型>
- 65 石巻(大中まき/海まき): 単船操業、水揚数量の大幅縮減<26.4~改革型>
- 67 遠洋まぐろ延縄(焼津): 冷気自然循環システムの採用、燃油使用量の削減<26.3~改革型>
- 68 遠洋まぐろ延縄(気仙沼④): ハトックフロー船型、省エネ航行、高品質化<26.5~改革型>
- 70 全国遠洋まぐろ(富山): 操業・航海の短縮、燃油削減、付加価値向上<26.4~改革型>
- 71 鹿兒島(カンパチ養殖): 国産人工種苗、飼料のEP化、作業共同化<25.4~改革型>
- 73 はぎ(定置網): 新型網の導入、目合い拡大、鮮度保持・出荷調整等<25.12~改革型>
- 74 隠岐(中まき): 燃油消費量の削減、適量漁獲と活魚処理等<改革型>
- 75 宇和島(中小まき): 船団縮小(5→4隻)、生産コストの削減、活魚化率の向上<26.4~改革型>
- 77 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑤): 主機駆動発電システム、気仙沼全量水揚げ等<26.4~改革型>
- 78 佐賀玄海(小型いか釣り): ケンサキイカ活魚化1隻、船凍品製造1隻等<26.6~改革型>
- 80 遠旋組合③(大中まき): 船団縮小(5→4隻)、2層甲板、ブライン凍結<26.4~改革型>
- 81 三重外湾(大中まき): 船団縮小(6→4.5隻)、活魚、窒素ナハブル高鮮度化<26.5~改革型>(全体計画)
- 57 遠洋まぐろ延縄(全体計画): 燃油使用量の削減、漁獲物の品質向上等

- 82 近海まぐろ延縄(高知②): 省エネ、新型魚倉、深縄、漁場変更<改革型>
- 83 福井(沖底): 省エネ、揚網方法の改善、活魚化<25.10~改革型>
- 84 真鶴(定置): 網設置位置の適正化、新設計網の導入<26.3~改革型>
- 85 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野②): 解凍硬直防止技術の確立、地元販売等<26.8~改革型>
- 86 下灘(真珠母貝養殖): 真珠母貝品種の絞り込み、共同養殖、母貝の大型化等<H26.1~改革型>
- 87 遠洋かつお一本釣り(塩釜・焼津): 共同化、温度帯変更、塩釜基地等<25.12~マイルト>
- 88 静岡県旋網(中まき): ミニ船団化、小型化、活魚生産等<26.8~改革型>
- 89 五島(中まき): 会社統合、ミニ船団化、活魚生産等<26.1~マイルト>
- 90 近海まぐろ延縄(日南・南郷): 省人、小型化、漁場変更、活餌操業等<26.8~改革型>
- 91 海外まき網(海外まき網): インド洋・太平洋の併用操業、2隻の連携、大型化等<27.4~改革型>
- 92 御量瀬(沖底): 小型化、省人化、直まき方式の採用等<改革型>
- 93 竹野(定置): 単船揚網体制、箱網の改良、底建網の採用、活魚化等<26.5~改革型>
- 94 秋田(定置): 流木予防網、大型クラゲ対策網、高価格魚種選択漁獲網の導入等<27.3~改革型>
- 95 対馬市(小型いか釣り): 船凍品製造、LED集魚灯等<改革型>
- 96 遠旋組合④(大中まき): 船団縮小(5→4隻)、主機関共通化等<27.4~改革型>
- 97 八雲町ホタテ貝養殖: 3年貝主体の生産構造への移行、養殖作業の共同化等<26.12~改革型>
- 98 鹿兒島定置: 網の保守管理作業の軽減、漁獲物の販売方法の改善等<27.8~改革型>
- 99 能都(定置): 1ヶ所統一合理的2ヶ所統操業、改革型金庫網、柔軟な出荷戦略等<27.9~改革型>
- 101 遠洋まぐろはえ縄(焼津③): 代替冷媒導入、冷凍機の稼働台数適正化等<マイルト>
- 102 串木野遠洋まぐろ: 経営体統合、既存船の大規模リニューアル<改革型、マイルト>
- 103 延岡(定置網): 両落とし式定置網導入、活魚出荷等販路拡大<27.10~改革型>
- 104 小川(さば棒受網): まき餌コスト削減、99ト型鋼船の導入、活魚・活魚処理等<改革型>
- 105 近海かつお一本釣り(日南・南郷②): 操業海域変更、海水氷製造機の搭載等<27.7~改革型>
- 106 近海かつお一本釣り(日南・南郷③): 操業海域変更、低温活餌装置の搭載等<改革型>
- 107 蒲郡(沖底): 操業体制の見直しによる省人化、アカサエビ活魚化等<27.9~改革型>
- 108 北海道機船(小樽②): LPLIによる効率的な操業、省人化、漁具共有化等<27.4~多角化>
- 109 北海道機船(稚内②): 操業対策委員会による操業、箱詰め割合向上等<27.4~多角化>
- 110 銚子(沖底③): ハイブリッド型漁船での操業、殺菌水生成装置導入等<改革型>
- 111 香住(沖底): 巻き返しによる漁具費削減、船上冷凍設備の導入等<27.9~改革型>
- 112 大分県(中まき): フィッシュポンプの網船への搭載、小型魚の蓄養等<27.11~改革型>
- 113 川南(沿岸まぐろはえ縄): 新たな経営体の確保、漁船の小型化等<改革型(沿岸漁業版)>
- 114 はぎ(パイ籠): パイ籠專業船の導入による船上作業の効率化等<改革型>
- 115 遠旋組合⑤(大中まき): 改革型漁船導入による船団縮小等<改革型>
- 116 屋久島(瀬物一本釣り): 操業協業化による効率化等<改革型(沿岸漁業版)>
- 117 網代港②(沖底): 船上加工による6次産業化<改革型>
- 118 遠洋かつお一本釣り(焼津・御前崎): 599ト船で省コスト操業、活魚脱血製造等<27.12~改革型>
- 119 五島定置: 仕切網による操業効率の向上と魚価向上<改革型>
- 120 近海かつおまぐろ(日向): メカジキトラップによる対象魚種の多様化、操業海域変更<改革型>
- 121 名瀬沿岸かつお一本釣り: 船団縮小、省エネ漁船導入によるコスト削減等<改革型>
- 122 ひやま(いか釣り): 新型漁撈機器の導入、高鮮度出荷、いか釣り專業化等<多角化>

**認定済み改革計画 122件: 実証中 48件(全体計画1件含む)、実証予定 16件、実証終了58件(がんばる漁業への移行11件含む)**

(注) 赤数字: 事業実施、青数字: 今後実施予定

計画名は、地域プロジェクト名及び漁業種類による省略を記載

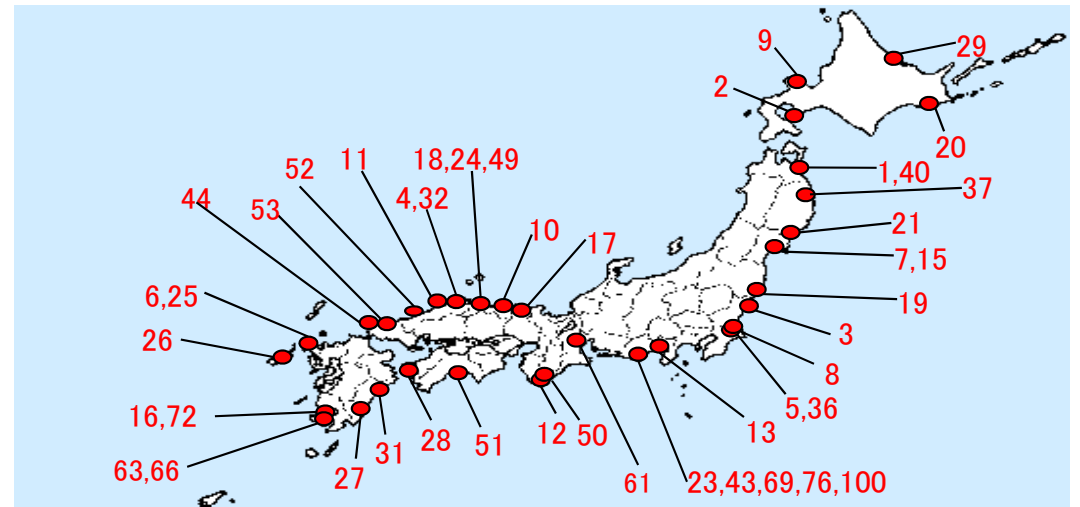
# 漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —実証事業を終了した計画— (H27年12月10日現在)

No.	改革計画・漁業種類	コンセプト	取組型	事業期間
1	八戸(大中まき)	船団縮小(4→2隻)	改革型	H20.4~H23.3
2	北海道機船(室蘭)	省コスト共通船型、操業協同化	改革型	H20.9~H21.8 H21.9~H24.8
3	大津(大中まき)	船団縮小(4→3隻)	改革型	H20.10~H23.9
4	賀露(沖底)	省エネ型船型導入	改革型	H20.9~H23.8
5	銚子(沖底)	小型化(74t→19t)、協業化	改革型	H20.6~H23.5
6	遠旋組合(大中まき)	船団縮小(5→4隻)	改革型	H21.1~H24.1
7	石巻(大中まき)	単船化、省エネ省コスト化	改革型	H21.8~H24.7
8	波崎(大中まき)	船団縮小(4→2隻)	改革型(※)	H21.8~H24.7
9	北海道機船(小樽)	生産体制の合理化	改革型	H22.2~H25.1
10	香住(べにずわい)	常設活魚艙導入	改革型	H20.9~H23.8
11	境港(べにずわい)	省エネ省コスト、高鮮度保持	改革型	H21.9~H24.8
12	紀伊水道(中まき)	船団縮小(9→7隻)	マイルト*	H21.7~H23.6
13	静岡県旋網(大中まき)	船団縮小(6→5隻)	改革型	H23.1~H25.1
15	塩釜(遠洋底びき)	新規漁場(インドネシア)開発	マイルト*	H21.8~H22.2 (中止)
16	山川(海まき)	海外漁場(ハブアニューギニア)の確保	マイルト*	H21.11~H23.11
17	柴山(沖底)	耐候性漁船、高品質水揚げ	改革型	H21.9~H24.8 H22.9~H25.8
18	浜坂(沖底)	小型化(90t→65t)、省人化	改革型	H21.9~H24.8
19	小名浜(大中まき)	船団縮小(2ヶ統8→7隻)	マイルト*	H21.10~H23.11
20	北海道機船(釧路)	船内1次加工等による高付加価値	改革型	H22.9~H25.8
21	気仙沼(近海まぐろ延縄)	省エネ省コスト、高鮮度保持	改革型	H22.8~H25.8 H22.10~H25.10
23	遠洋かつお一本釣り(焼津)	省エネ省コスト、高付加価値化	マイルト*	H22.9~H24.8
24	網代港(沖底)	省エネ、高鮮度保持	改革型	H23.4~H26.3
25	遠旋組合②(大中まき)	2船団グループ操業化	改革型	H23.4~H26.3
26	五島中まき(奈留)	5船団でトータルコストの削減	マイルト*	H22.6~H24.5
		省エネ、省コスト、高鮮度保持	改革型	H23.4~H26.3
27	近海かつお一本釣り(日南)	小型化(70t→19t)省エネ化 小型化(70t→19t)省人化	改革型	H23.4~H26.3 H23.4~H26.3
28	真珠養殖業(愛媛)	越物真珠生産	改革型	H22.11~H25.3 H22.11~H25.3 H22.11~H25.3 H22.11~H25.3
29	紋別(小底)	省エネ、衛生管理	改革型(※)	H23.3~H26.2
31	北浦(中まき)	6船団共同操業・共同運搬化	改革型	H23.4~H26.3 H23.4~H26.3
			マイルト*	H23.4~H25.3
32	賀露(沖底)	省エネ、船凍出荷	改革型	H23.9~H26.8
36	銚子(沖底②)	小型化(74t→19t)、船首ブリッジ導入	改革型	H24.6~H27.5

37	遠洋まぐろ延縄(宮古)	省エネ、脱血処理の徹底による付加価値向上	改革型	H24.5~H27.4
40	八戸(小底)	コスト削減、鮮度向上	改革型	H27.3取り下げ
43	遠洋まぐろ延縄(焼津)	省エネ、流通改善	マイルト*	H24.4~H26.3
44	下関(沖底2そうびき)	小型化(75→69t)、付加価値向上	改革型	H24.4~H27.3
49	網代港(定置)	省力化、活魚率・鮮度向上、大目合網の導入等	改革型	H24.4~H27.3
50	遠洋まぐろ延縄(尾鷲)	小型化・省エネ、アルコールスラリーの導入	改革型	H24.6~H27.5
51	遠洋まぐろ延縄(高知)	既存船の省燃費型への改修、船上加工	マイルト*	H24.4~H26.3
52	浜田(沖底)	リシップ等による省エネ、高鮮度化・活魚販売促進	マイルト*	H25.4~H27.3
53	萩(小型いか釣り)	共同探索・運搬等による操業の効率化	マイルト*	H24.6~H26.5
61	遠洋まぐろ延縄(南伊勢)	針数削減等による効率的操業の導入	マイルト*	H25.4~H27.3
63	枕崎(遠洋かつお一本釣り)	鰹節向けライン鰹生産、燃油費削減	マイルト*	H25.3~H26.4
66	枕崎(海まき)	合弁事業、フライン操業、大目網の導入	マイルト*	H25.3~H27.2
69	遠洋かつお一本釣り(焼津②)	燃油削減、B-1製品の製造、付加価値向上	マイルト*	H25.3~H27.3
72	鹿児島(ブリ養殖)	国産人工種苗、2年魚出荷、共同作業船	改革型	H25.3~H27.7
76	遠洋まぐろ延縄(焼津②)	メバチ・キハダロイン加工、ピンナゴドレス加工等	マイルト*	H25.10~H27.9
79	近海まぐろ延縄(高知)	省エネ、高鮮度、漁場変更(中南海→南方)	改革型	H25.10~H27.9
100	遠洋かつお一本釣り(焼津・御前崎)	599トン船での省コスト操業、活魚脱血製品製造等	改革型	H27.10取り下げ

(※) 自己負担等により実施したもの

表はがんばる漁業への移行11件を除く



実証終了58件(がんばる漁業への移行11件含む)